

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： プロリン異性化による立体的ヒストンコードの解明
2. 研究代表者： 島田 緑（名古屋大学 大学院医学研究科 教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、タンパク質のプロリン異性化という観点からヒストンの立体性に着目し、その遺伝子発現制御の実証や生物学・医学的意義の解明を目的としている。

フェーズ1では、ヒストンのプロリンの異性化が遺伝子発現を調整することを見出しており、着実な成果を上げている。フェーズ2の研究計画においては、構造解析、機能解析、創薬など挑戦的な内容となっている。FKBP52はほとんどのがんで高発現していることから、がん等の病態との関連やFKBP52の活性制御機構などについての成果を期待する。

以上